記号の説明

━	まちめぐりルート
0.3	区間の距離 単位:km

〔注意場所など〕

⊘	横断注意
●●●	信号交差点
⋯	歩行注意
▪▪▪	階段
▶	矢印方向に登り坂

〔まちめぐり資源〕

🟩	公園
▭	河川・水路
⬭	神社、寺院、碑、 その他由来のあるもの
⬬	特徴ある風景・街並み
✳	眺望場所
●	樹木
▣	資源の解説板

〔目標物・その他〕

⚲	バス停留所
CVS	コンビニエンスストア
S	スーパー・ショッピングセンター
G.S	ガソリンスタンド
〒	郵便局
PB	交番
🚻	トイレ
○	目印となるカーブミラー
⚠	注意するポイント

注）**①資源名** で示したものは裏面に解説があります。

《山側のルート》からの眺望

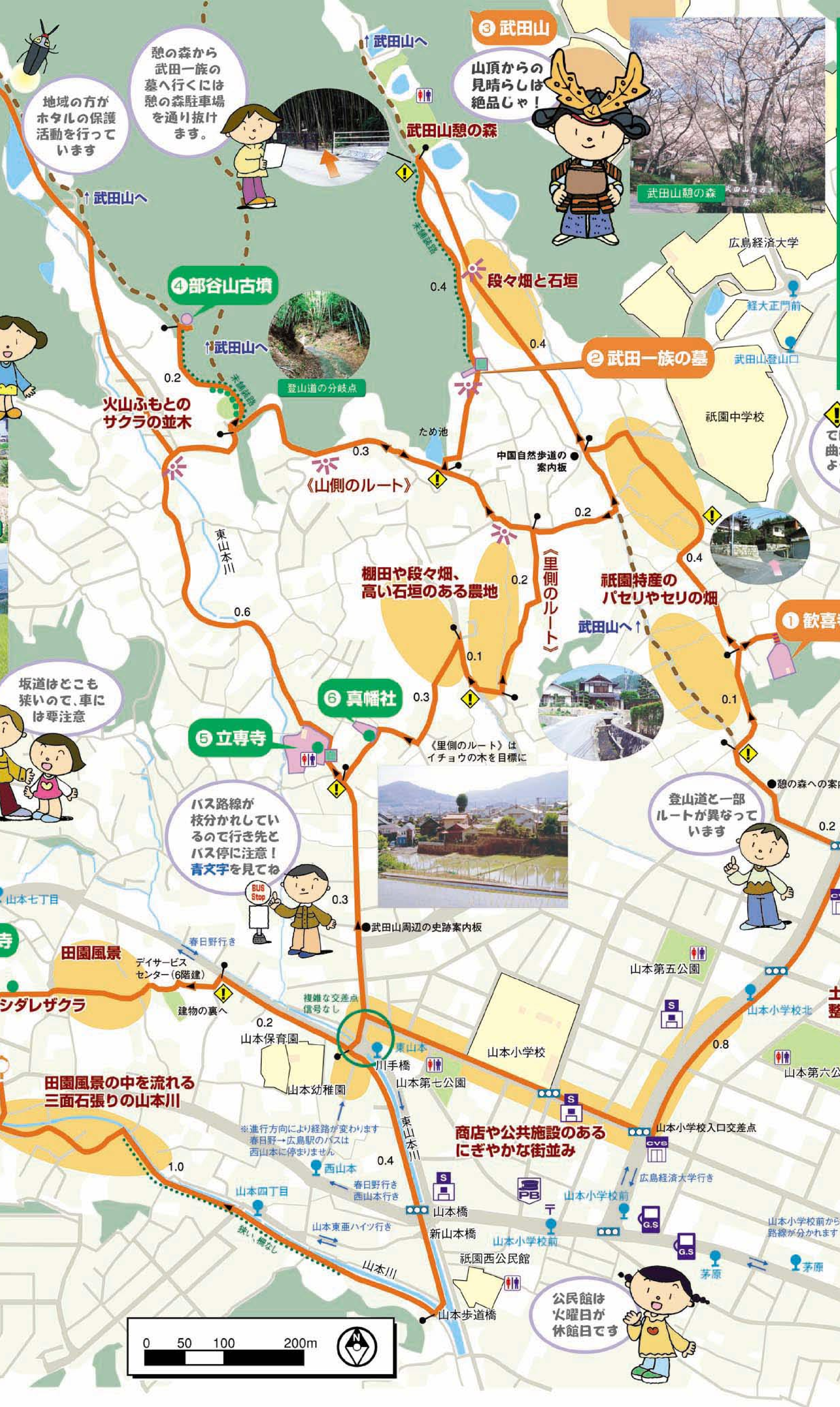
火山ふもとのサクラ

歓喜寺付近の田園風景

山本川付近の田園風景

平山八幡神社付近のサクラ

シダレサクラ



ししがたに
鹿ケ谷ふれあい広場へ
地域の方がホタルの保護活動を行っています
憩の森から武田一族の墓へ行くには憩の森駐車場を通り抜けます。
↑武田山へ
③ 武田山
山頂からの見晴らしは絶品じゃ！
武田山憩の森
④部谷山古墳
↑武田山へ
登山道の分岐点
未舗装路
0.2
火山ふもとのサクラの並木
0.4
段々畑と石垣
0.4
② 武田一族の墓
広島経済大学
経大正門前
武田山登山口
祇園中学校
ため池
0.3
《山側のルート》
中国自然歩道の案内板
0.2
マークの場所では地図をよく見て曲がり角を間違えないよう注意しよう
0.4
東山本川
祇園中学校入口
棚田や段々畑、高い石垣のある農地
0.2
《里側のルート》
祇園特産のパセリやセリの畑
0.6
武田山へ↑
① 歓喜寺・大年神社
余力のある人は武田山にも登ってみよう！！
0.1
0.1
坂道はどこも狭いので、車には要注意
⑥ 真幡社
0.3
⑤ 立専寺
《里側のルート》はイチョウの木を目標に
祇園清心幼稚園
(祇園カトリック教会)
祇園小学校
AICJ中学校
高等学校
可部方面↑
祇園第二公園
憩の森への案内板
登山道と一部ルートが異なっています
南下安
0.2
南下安交差点
市街地から山へと街の様子がどんどん変わっていくよ
バス路線が枝分かれしているので行き先とバス停に注意！青文字を見てね
BUS Stop
0.3
神社の階段を登らないルートもあります
山本七丁目
武田山周辺の史跡案内板
下祇園駅
武田山登山道案内板
0.5
JR可部線
坪井川
⑧ 平山八幡神社
⑦ 専念寺
田園風景
春日野行き
デイサービスセンター（6階建）
ちびっこ広場
サクラ
シダレザクラ
建物の裏へ
複雑な交差点信号なし
0.2
山本第五公園
土地区画整理事業で整えられた街並み
山本小学校北
0.2
県道古市広島線（旧国道）
下祇園
0.5
福取橋
山本保育園
東山本
川手橋
山本小学校
山本第六公園
横川方面↓
交通量多い、歩道なし
0.8
西山本川
山本幼稚園
山本第七公園
田園風景の中を流れる三面石張りの山本川
※進行方向により経路が変わります
春日野→広島駅のバスは西山本に停まりません
東山本川
商店や公共施設のあるにぎやかな街並み
山本小学校入口交差点
1.0
西山本
0.4
広島経済大学行き
山本四丁目
春日野行き
西山本行き
山本橋
山本小学校前
山本東亜ハイツ行き
新山本橋
山本小学校前
山本小学校前から路線が分かれます
狭い、柵なし
山本川
祇園西公民館
茅原
茅原
山本歩道橋
公民館は火曜日が休館日です
0 50 100 200m
N
武田山憩の森

祇園・山本で見かける農業の風景

平地部の水田は市街地の拡大で減ってきましたが、武田山の山麓ではあちこちで農業を営む風景を目にすることができます。

特に山からわき出す清水を使って、セリやパセリなどの栽培が盛んに行われ、「祇園のパセリ」など広島市を市場とする近郊農産物として有名です。また、棚田や段々畑など、山の斜面を利用するために築かれた立派な石垣も見られます。

セリ畑

《里側のルート》の棚田

憩の森付近の段々畑

パセリ畑

武田山の案内マップをご活用ください

区役所、公民館などで配っている案内マップや、JR下祇園駅前に設置されている案内板をご活用ください。

ふるさとの武田山登山ガイド
祇園町商工会

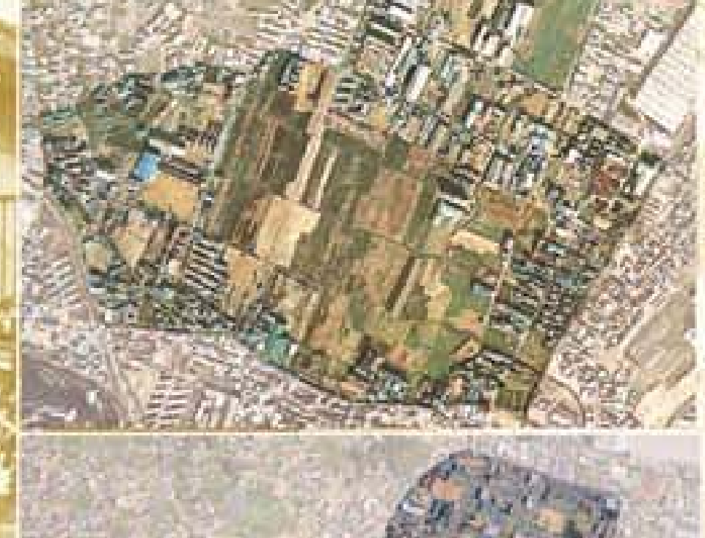
山本川の洪水と石張りの護岸

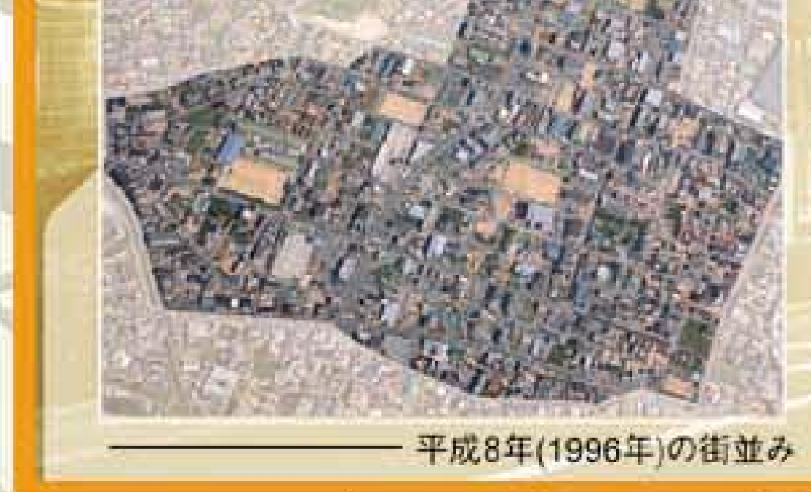
大正15年(1926年)、広島地方を襲った豪雨により、西山本で次々と山津波が発生しました。土石流は西山本の川筋の集落を飲み込み、現在の 祇園西公民館辺りから下流の平地部にまで流れ出しました。この災害により24人の方が亡くなりました。流域の被害も甚大で、復旧には国などから支援を受け、防災対策を考えた山本川の大改修が行われました。その結果、現在のように川筋は真っ直ぐになり、護岸や川底を石張りで固めた頑丈な河道が整備されました。

直線河道と石張り護岸

祇園地域の移り変わり

昭和49年(1974年)頃の様子




平成8年(1996年)の街並み

JR下祇園駅の西側の地域は、一部の工場、倉庫等を除いて大部分が農地でした。この地域にはバスがようやく通れる道路が一本あるだけで、ほとんどは狭く曲がりくねった道路でした。さらに土地が低いため、大雨が降ると坪井川が氾濫し、冠水するなど、基盤の整備が遅れていました。

一方、市街地の拡大に伴い、無秩序な宅地化が進行する恐れもあり、祇園町時代から土地区画整理事業が計画されてきました。そして、広島市合併後の昭和51年(1976年)から事業に着手し、平成8年(1996年)、すっかり新しい街に生まれ変わりました。